

ご来場いただきました皆様へ

皆様、この度は大規模災害に備えた「ドリーム・ゲート事務所内覧会」にお越しいただきまして誠にありがとうございました。

昨年8月に名取市に事務所を構えましたが、私たちは災害についての専門家でもありません。しかし「私たちにもできることがあるんじゃないか」と手さぐりの状態からこの活動は始まりました。幸いにも多くの方々にご協力・ご支援をいただくことができ、今回このような内覧会を開くことができました。

しかし、私たちができることは非常に限られたことしかありません。家族で、地域で、国のレベルで、それぞれができる範囲で準備を行うことが必要だと思います。

この回覧会が皆様の「防災活動」へ興味を持っていただくきっかけになればうれしいです。

特定非営利活動法人ドリーム・ゲート 理事長 田中 慎也

私たちは災害時に事務所を避難所として開放いたします

※災害時の避難所とは

現在、名取市では避難所を防災計画の中で37か所指定しています。これらは学校などの比較的多きな施設を中心に指定され、災害時には行政が主導となって避難所として開放されます。しかし、現実には避難所の環境に耐えられずに自宅に戻る方、避難所を出て近所の公民館などに集まる方も多く、中には農家のビニールハウスで過ごした例もありました。

※皆様、ご存知でしたか？

大地震が起こった時に「避難所に行けばすぐに対応してくれる」と思っていませんか？

次からの話は事前の準備が少なかった避難所の例です。

そうならないためにも私たちにできることを考えていきましょう。

宮城県沖を震源とする大きな地震が起こりました。宮城県全域で大きな被害が出ています。電気・ガス・水道も止まり、自宅も大きく傾いて倒れそうです！

急いで何も持たず避難所に向かいました

ようやく避難所に到着しましたが、中には入れないとのこと！
グラウンドで待機することになりました。



どうして中に入れないの？(1)

避難所を開放するためには建物の安全を確認する必要があります。市役所の担当者・行政職員が避難所の安全確認を行わないうちは入れないと思ってください。

冬で雨が降っていればどうなるでしょうか？寒い中確認ができるまで待たなければならなくなってしまいます。

皆さんがお住まいの地区に「建設業」「建築士」の方はいらっしゃいますか？日頃から地域の方と協力してくれる建築の専門家と市役所の3者での話し合いを行うことが必要かもしれません。

どうして中に入れないの？(2)

学校が指定避難所になっている場合、災害が深夜や夜間に起こった場合はどうなるでしょう？地区の方が集まってきてもカギを誰が持っているのかわかりません。鍵を誰が持っていて、どうやって開けるのかの事前の確認も必要となってきます。また、鍵を持っている方が被災されて避難所に来られない場合も考えておく必要があります。



建物の安全が確認され、市役所の方・学校の先生も到着しました。しかし、まだ何の案内もありません。



安全は確認！！まだ中に入れないの？(3)

建物の安全は確保されましたが、中では話し合いが行われています。地震が起こった場合を想定しての話し合いが行われていませんでしたので「教室？体育館？どこを避難スペースにするの？」「割り振りは？地域ごとにまとまる？自由にする？」「避難してきた人の確認は？」「仮設トイレはどこに置く？」「避難所のルールはどうするの？」という話し合いが始まり、まだまだ建物内に入れません。避難所運営についてあらかじめ想定してマニュアルや名簿を数種類つくっておけばこのような混乱は少なくなると思います。また、地域の方の役割分担も行っておく必要があります。



中に入れない地域の方との間で混乱が発生し、ルール作りが行われなまま仕方なく体育館のみを開放しました。皆が思い思いにフロアのスペースを確保していききました。

建物に段差があり中に入るのも一苦労！

体育館に入るには段差があり、車いすでは一人では入れなかったのが、周りの人をお願いをしようやく中に入れてもらいました。係の人が仮設トイレを外に設置している様子が見えましたが、外に出るためにはあの段差を手伝ってもらわなければなりません。

身動きできない状況に！

中に入って自分のスペースを何とか確保しましたが、周りにも知らない人がどんどん集まってきました。その結果車いすで移動するための通路がなくなってしまいました。

トイレができない！

外の仮設トイレは長蛇の列！和式の仮設トイレなので使うことができません。今まではトイレが使えない時は「シビン」を使って済ませていたのですが、何も持たずに出てきたので、シビンがありません。仮に持っていたとしても周りの人が気になって使える状態にありません。

食事がとれない！

地域の方による炊き出しが始まり、配られています。私の前にも味噌汁とおにぎりと水が配られました。しかし、床に座った状態で食事をするにはテーブルが必要な私は食べることができません。床ではこぼしてしまい周りに迷惑がかかってしまいます。



寝られない&寝ているしかない！

車いすで移動する通路はなく、入口には段差があるので外に出られません。周りの人とのコミュニケーションもうまく図れない私は寝ているしかありません。ゆっくり寝られればいいのですが、障害により体温調整ができないので、暑くてしかたありません。夜も電気がついた蒸し風呂状態の体育館の中、着替えもできず横になっているだけです。床の硬さで床ずれができないか心配になってきました…今の衛生状態のなか床ずれになれば…あっという間にひどくなってしまおうでしょう

ここでの生活をあきらめ自宅に戻る決意をしたのでした…



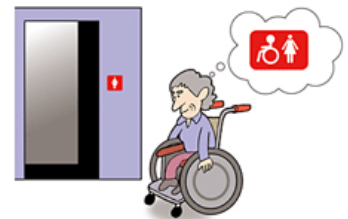
このようなことが起こらないためには、地域・行政・当事者が共に話しあい、事前に避難所のルールを作っておくことが必要です。

災害で助かった命を避難所で失わないために。

事前に確認しておきたいこと

ここでは、身体に障害を持つ方を想定して事前に確認しておきたい点を例として挙げてみます。

- ※避難所生活の要望等の窓口・担当者
- ※医療ケアが必要な方についての対応
- ※体温調整が難しい方については、空調設備があるスペースの確保
- ※人工呼吸器・吸引・電動車いす等が必要な方については発電機の確保
- ※施設内の段差の有無と想定される導線
- ※車いすでも使用できる手すりのついた洋式トイレスペースの確保
- ※リハビリパンツの交換や寝た状態で着替えのできる部屋の確保
- ※じょくそう(床ずれ)防止のためのマットの確保
- ※外部から訪れるヘルパーへの対応



その他にも様々な準備が必要となります。

避難所でのルール作りには障害当事者の方に参加していただいで一緒に考えていくことが一番重要になってきます。

ドリーム・ゲートでは今後、皆が集まってのルール作りをお手伝いします。

ドリーム・ゲートでは、大規模な災害に備え準備を行っておりますが、私たちの事務所で生活できるのは数人に限られてきます。

大切なのは皆様の身近にある指定避難所について障害を持つ方々が生活しやすい環境になるための準備を事前に行っておくことだと思います。

障害があっても私たちは地域の一員です。

災害が起こった時に障害者だけ別な場所に集められるのではなく

「当たり前のように地域の避難所で健康に生活を送ることができる」

ことが大切なのではないかと思えます。

今回の内覧会をきっかけに地域の避難所のことを考えてみませんか？



私たちが災害に向け準備を行っておきましょう

普段から地域のつながりが大切です。

阪神・淡路大震災で、家の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。災害が大きくなればなるほど行政の支援は小さくなります。大規模災害時の救助や避難などには、ふだんの近所つきあいが力を発揮します。



自宅の総点検を行いましょ。

あなたのお宅は地震に耐えられますか？

昭和56(1981)年に、住宅の建物の強さを定める基準が大きく変わりました。この年以降に建てられているかどうか、自分の家の強さを知る一つの目安となります。耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょ。

家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を！

大地震ではテレビが飛び、窓ガラスがあなたの行く手をはばみます。家庭内に「安全空間」をつかっておくことで、災害時に安心して暮らせます。「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、お部屋の総点検を行いましょ。

- ※ 家具は、倒れる向きを考えて配置しましょ
- ※ 寝室には家具を置かないようにしましょ
- ※ 家具を置く場合は、固定することで転倒防止をはかりましょ



日頃から必要なものを準備しておきましょう。

避難場所での生活に、必要な物を準備しておきましょう。

防災のために特別なものをを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中に組み込んで、平時に無意識に更新されるものでまかないましょ。安価でどこでも入手しやすいものでないと、定期的に更新したり分散して置くことができません。

例えば、ティッシュやトイレトーパー、ラップ、アルミホイル、大型ゴミ袋、水のペットボトルなどは、ある程度の量を蓄え、順々に古い方から使い、日常生活で買い足していきましょ。

特に避難所で手に入らないので準備が必要と思われるもの(例)

「薬」「処方箋のコピー」「カテーテルなどの医療品」「しびん」「リハビリパンツ・尿パット」

何もないことを前提に考えて準備を行いましょ。

現在はホームページからもいろいろな情報を入手できます。

宮城県HP <http://www.pref.miyagi.jp/> TOP⇒暮らし⇒防災

名取市HP <http://www.city.natori.miyagi.jp/> TOP⇒暮らしのインデックス⇒防犯・防災

名取市消防本部（避難所MAP） <http://www.fdn119.jp/>

内閣府防災情報 <http://www.bousai.go.jp/>

総務省消防庁（eカレッジ） <http://www.e-college.fdma.go.jp/>

特定非営利活動法人ドリーム・ゲート

〒981-1232 宮城県名取市大手町2丁目1-3 ひまわりビル101

TEL 022-399-8374 FAX 022-399-8397

E-Mail u6676ws659t@asahi-net.or.jp <http://blog.canpan.info/dreamgate/>